

## コミュニケーション能力向上を!

阿部 洋子



**問** コミュニケーション能力を高めるため、小中学校において「赤ちゃん登校日」の実施を求める。

**指導課長** 小学校1校では、子育て支援センターを訪問し、赤ちゃんに触れ合う学習を実施した。また、全中学校では、家庭科において、保育実習を行っている。

**問** 保健センターが始めた、赤ちゃんと保護者が高校に訪問し、生徒と触れ合う事業を小中学校に拡大を。

**健康増進部長** 教育委員会と相談していきたい。

**問** プロ棋士の故安田泰敏九段が始めた「ふれあい囲碁」は、子どもも大人も、障がいの有無にかかわらず、言葉の要らないコミュニケーション能力を高める効果がある。教育現場で導入してはどうか。

**教育長** 文科省ホームページ内においても、さまざまな障がいのある子どもたちのサポートツールとして掲載されている。調査を重ねて導入を検討していきたい。

**【その他の質問】** 防災・SDGs（持続可能な開発目標）に見るESD（持続可能な開発のための教育）の取り組み



赤ちゃんふれあい体験事業（藤代紫水高校）

## 狭いぞ！子どもの視野

染谷 和博



**問** 登下校中の児童を狙った犯罪が絶たない。約15%の児童が声掛けや付きまといに遭い、その際、大声を出した子は0.9%、防犯ブザーを鳴らした子は1.9%にとどまっている。地域の皆さんが見守り活動していただいているメインの場所から、児童が1人になる危険な場所の把握は。

**教育部長** 毎年、学校、PTA等と連携し、危険箇所の確認や解消を図っている。また、1人になる時間帯や場所を把握する調査は現在進めている。

**問** 守谷市ではデジタル地図を利用し、一人一人の通学路を書き込み、下校時に1人になる時間を正確に把握している。当市の状況は。

**教育次長** 地図への書き込みは行っているが、時間の把握はできていないので、今後把握していきたい。

**問** 歩行中の交通事故死者数で最も多いのが小学1年生。男子は女子の2倍にもなり、特に自宅から500m以内が多い。子どもは大人に比べて3割程度視野が狭い特徴がある。小学生への安全指導はどのように行っているのか。

**答** 交通安全教室や集会を開催し、横断歩道の渡り方や不審者と遭遇したときの対応指導を行っている。

**【その他の質問】** 読みやすい書体の普及・中小企業の設備投資を促す制度・市職員副業促進について

## 市民優先に！体育施設予約

関川 翔



**問** グリーンスポーツセンターや藤代スポーツセンターなど、市内体育施設の予約方法は。

**教育部長** 各施設窓口で直接、各施設への電話、県公共施設予約システムによるネット予約の3種類がある。

**問** それぞれの予約受付開始日時はどうなっている。

**スポーツ生涯学習課長** 窓口受け付けは利用希望日の3カ月前の午前9時、電話受け付けは同日の午前10

時、インターネット予約は予約開始日の2日後から。

**問** 利用者が市内・市外によって、予約方法に違いはあるのか。

**答** 違いはない。

**問** 市の施設であり、市民が利用しやすい予約方法にすべきではないか。

**答** 龍ヶ崎市、牛久市、つくばみらい市など市民への優遇措置をしている。

**教育部長** 課題とさせていきたい。

## もう要らない！ギャンブル施設

遠山 智恵子



**問** 小浮気地先の自動車教習所跡地にポトレース場外発売場「ポトピア」設置の話が聞けが、設置手続きはどのようになっている

**政策推進部次長** ポトピアア岩間設置の事例を確認すると、旧岩間町では、関係区長、水利組合の皆さんの同意を得たと聞いている。どの範囲の同意を得たらいのかは研究していく。

**【その他の質問】** 学校給食・障害者差別解消法施行に伴う市の取り組み

## 市民生活第一の税金支出に

加増 充子



**問** 子どもの医療費1回600円の窓口負担廃止を。健康増進部長 医療費抑制のためにも自己負担は必要

**問** 払い切れない介護保険料。一般会計から繰り入れて減免拡充を。

**福祉部次長** 被保険者間の公平性確保等の観点から、保険料減免分に対する一般財源の投入は適当でないとい国が示している。

**問** 介護保険の利用を控えることを防ぐため、利用料減免対象の拡大を。

**答** 県内で取手市を含め13市町村が利用料の減免を行っている。十分利用しやすいように対応している。

**問** 生活道路の修繕整備の見直しは。

**建設部長** 緊急性の高い箇所から修繕している。年間約1000カ所程度実施。

**問** 青柳地域の冠水解消には、長町樋管の機場化を。

**答** 機場化には幾つもの課題がある。排水ポンプ車の配備など、できることはやっている。

**問** 私たち日本共産党が行ったアンケートでは、取手駅西口・桑原開発に賛成はわずか30%だった。総事業費など情報を明らかにし、市民の声を聞くべき。

**副市長** アンケート結果は、賛成30%、反対23%と、心強い結果と感じている。

**都市整備部長** 現在、地権者の皆さまと検討中。精度が増してきた段階でお示ししていきたい。